

昭和44年創刊

令和4年(2022年)4月1日(金) 13853号



株式会社 日刊金属

本社 大阪市北区天満2丁目12番地3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号
 TEL: 06-6353-7831
 FAX: 06-6353-7832
 MAIL: metal_info_osaka@nikkankanzoku.co.jp
 WEB: https://home.nikkankanzoku.jp/

購読料 12か月 77,760円 外電配信料 12か月 92,400円
 6か月 38,880円 6か月 46,200円

21・22年度伸銅品需要

21年度比2.4%増 791千トンの見通し

日本伸銅協会

一般社団法人日本伸銅協会(柴田光義会長)はこのほど、調査統計委員会が策定した2021・22年度の伸銅品需要見通しを発表した。

コロナ禍から回復した21年度に続いて成長が継続し、世界的高水準の半導体需要に加え自動車の挽回生産、リモートワーク対応の電子機器や住宅設備機器の増加、五輪により後送りとなっていた建設建築での回復も進むとみており、またデジタル変革に伴う電子機器や脱炭素再生エネルギーの新規需要も進展するとみられることから、需要全体として前年度比+2.4%増、791.8千トンと見通した。

21年度の日本経済は、10~12月期実質GDP成長率は前期比+1.1%(年率換算+4.6%)と2四半期ぶりにプラス回復したが、一次速報の年率5.4%増に対し、個人消費が下ぶれたほか設備・公共投資についても下方修正。22年度実質GDP成長率はシンクタンク20機関平均として前年度比+3.0%(+2.5%~+3.7%)としている。

国内経済の動向については、経済活動の正常化に伴う消費回復が継続するとみられるほか、部品・半導体

の供給不足も徐々に解消に向かうと考えられることから、生産、消費の回復傾向も継続するとみている。底堅く推移している設備投資分野での機械投資・デジタル関連の拡大や、人手不足・リモートワーク対応のソフトウェア投資の拡大も予想し、建設・建築投資も回復基調をたどるとみている。

一方、先行きリスクとして国際的な供給制約の長期化や資源高騰に関連した消費や設備投資の抑制を挙げており、各機関での年度ベースの成長率は20年度の-4.5%に対し21年度と22年度は2年連続の2%以上の回復を経て、23年度以降はコロナ前のピーク水準を回復するとの見方が多くを占めるとしている。世界経済は、サプライチェーンの混乱とエネルギー価格上昇などによる米国や新興国におけるインフレ率の上昇、中国での不動産部門の減速と伸び悩み民間消費の回復などが予想され、3~4%台の回復は継続するものの22年の成長は21年に比べ抑制されるとしている。

こうした環境下の22年度見通しで、板条は、21年度下期の自動車減産から挽回生産に入っているほか、今後の電動車比率の高まりや先進運転システムにおける電装化による搭載部品点数の増加も追い風になるとみられている。半導体分野は、PC、ウェアラブル端末の増加をはじめ、データセンターやFAなどのインフラ関連においても成長が見込まれることから、21年度を上回る増加が予想される。

銅管は、21年度に部品などの入手難からルームエアコンの減産が見られたが、寒冷地需要の拡大や底堅い買替需要から、安定した需要が見込まれる。パッケージエアコンについても、物件の回復に加え、経済活動の回復に伴う店舗向け小型パッケージエアコンの出荷も回復に向かうとみられることから、前年度比プラスを見通している。

黄銅棒は、堅調なリフォーム需要や、経済活動の回復に伴う工場設備の増加などにより、引き続き回復傾向をたどるとみている。

分野別では、輸出向けを含め安定した需要が継続するとみられるガス機器、リモートワークなど行動様式の変化によるリフォーム分野での増加が期待される水栓金具、再開発物件の再開におけるインフラや半導体設備関連など設備向けバルブ需要の底上げも含め、全体的に増加を見通している。22年度の品種別見通し数量は次の通り。(2面へ続く)

故銅・銅滓 アルミ原料

高価即金買入

——ご照会を乞う。

森下商店

大阪市西成区南津守 7-12-46

TEL (06)6659-5577~8

FAX (06)6659-5579

銅板：13.0千トン（対前年度比+2.0%）銅条：282.4千トン（同+1.2%）銅管：100.2千トン（+6.4%）銅棒：23.2千トン（+4.5%）銅線：3.9千トン（+0.8%）黄銅板：5.9千トン（+0.9%）黄銅条：102.1千トン（+1.6%）黄銅管：5.6千トン（+13.1%）黄銅棒：182.1千トン（+1.5%）黄銅線：27.4千トン（+2.2%）青銅板条：32.0千トン（+6.3%）青銅棒線：3.4千トン（+7.9%）洋白他板条：5.8千トン（+2.7%）洋白他棒線：4.9千トン（+4.7%）。

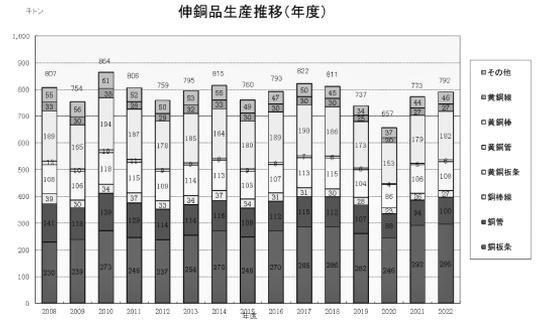
一方、21年度実績の見込みでは、各需要分野の回復が続き、コロナ禍により低迷した20年度に対し17.7%増の回復となり、19年度を上回る水準の773.0千トンが見込まれる。上期は、前年秋以降引き続く各業界での生産活動の回復が継続。下期は、半導体の入手難を背景とした完成車の減産や部品、樹脂などの部材入手難により、エアコンや家電など一部で減産が見られたが、伸銅品生産での大きな変化は見られていない。

銅板条、黄銅板条、青銅板条等の板条製品については、リモートワーク・巣ごもり需要の継続や、通信機器の高速化から半導体需要は世界的に好調なほか、一時減産した自動車生産も挽回してきており、銅条は過

去最高の生産量になるとみられるほか、黄銅条もコロナ前の19年度を上回る回復となる見込み。

銅管は、下期での半導体や東南アジアからの部品入手難を背景としたエアコンの減産が一部でみられたが、エアコン需要自体は高水準が継続するとみられるほか、建設・建築需要の回復からパッケージエアコン出荷も増加に転じている。

黄銅棒は、リモートワーク・巣ごもりによるリフォーム需要の拡大を受けたガス機器、水栓金具需要は回復するとみられるほか、産業・工作機械等向け機器も回復が続き、19年度を上回る水準に復調した。



4月前半の減摩合金価格を公表 フジメタル工業

フジメタル工業は、4月前半の減摩合金算定価格を改定、1日より適用。新算定価格は次の通り。(ホワイトメタルIS規格品、500キロ以上の大口、キロ当たり円、カッコ内は前回比)

【ホワイトメタル】

- ◇1種 …6,025円(▲100) ◇2種…5,825円(▲95)
- ◇2種B…5,725円(▲90) ◇3種…5,625円(▲85)
- ◇4種 …4,920円(▲65) ◇5種…4,740円(▲85)

- ◇6種…3,445円(▲35) ◇7種…1,500円(◎5)
- ◇8種…1,260円(◎15) ◇9種…1,080円(◎5)
- ◇10種…970円(◎15)

【棒半田】

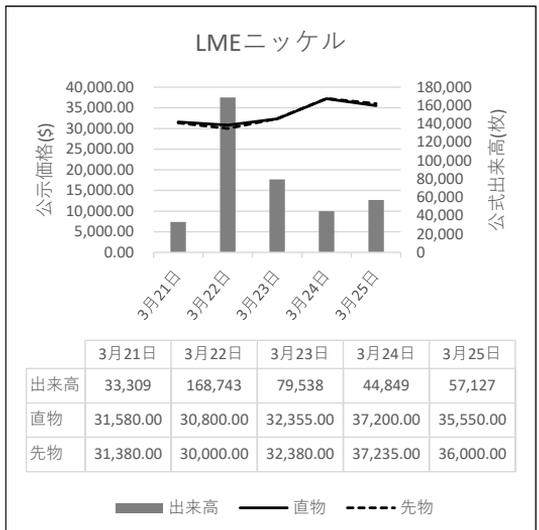
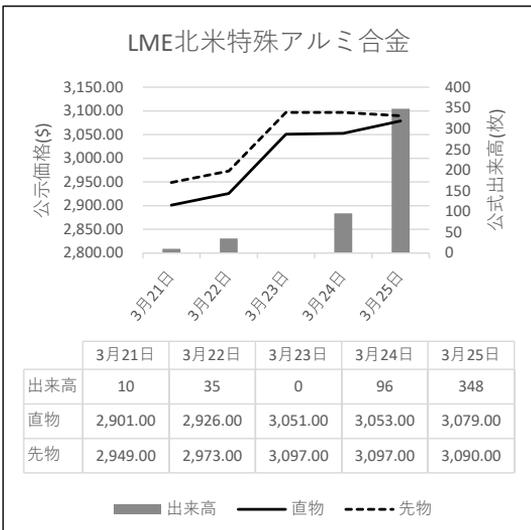
- 錫60%…4,095円(▲75) 錫50%…3,510円(▲70)
- 錫40%…2,930円(▲55) 錫30%…2,345円(▲45)

【原料】

- 錫…5,820円(▲120) アンチモン…1,930円(◎155)
- 銅…1,281円(◎48) 鉛 ……333円(▲5)
- 亜鉛…528円(◎18) 砒素 ……2,550円(-)

<https://nikkankinzoku.co.jp/>
PW: KINZOKU2204

LME公式値週間推移 3月21日～3月25日(現地)



※ ニッケルの21日、23日、24日の価格は非公式価格です。

2022年3月海外相場と為替相場

年 月 日	LME	COMEX	LME	K L T M	LME				ドル
22 3 1	9,974.0	444.45	45,550	-	2,402.0	3,705.0	3,450.0	25,240	116.28
2	9,976.0	458.65	46,000	-	2,413.0	3,737.0	3,495.5	25,450	116.01
3	10,257.5	465.55	46,150	-	2,433.5	3,927.0	3,605.0	27,000	116.63
4	10,470.0	477.15	46,655	-	2,424.5	3,985.0	3,728.5	28,800	116.42
5	10,466.0	492.90	47,325	-	2,440.0	4,024.5	3,851.0	29,800	-
6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	10,730.0	472.20	48,670	-	2,513.0	4,248.0	3,984.5	42,995	116.02
8	10,730.0	472.20	48,670	-	2,513.0	4,248.0	3,984.5	(42,995)	116.49
9	10,171.0	470.05	50,050	-	2,491.0	4,091.0	3,500.5	(48,201)	116.89
10	10,052.0	456.40	48,200	-	2,401.0	3,940.0	3,532.0	(48,211)	117.01
11	10,144.0	464.35	42,800	-	2,401.0	3,961.0	3,535.0	(48,241)	117.32
12	10,145.0	461.60	44,025	-	2,361.0	3,835.0	3,472.0	(48,226)	-
13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	-	-	-	-	-	-	-	-	118.61
15	9,880.0	451.25	44,100	-	2,272.0	3,782.0	3,399.0	(48,211)	119.25
16	9,826.0	450.15	42,525	-	2,230.0	3,771.0	3,217.5	(48,196)	119.40
17	10,100.5	458.80	43,100	-	2,245.0	3,821.0	3,306.0	(45,795)	119.99
18	10,166.0	469.05	41,850	-	2,235.0	3,805.0	3,288.0	(42,150)	119.69
19	10,249.0	473.05	42,450	-	2,259.0	3,850.0	3,380.5	(37,115)	-
20	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22	10,173.0	470.15	41,425	-	2,248.0	3,896.0	3,518.0	(31,580)	121.04
23	10,342.0	468.90	41,550	-	2,270.0	3,945.0	3,550.5	30,800	122.16
24	10,311.0	476.25	42,000	-	2,336.5	4,018.0	3,560.0	(32,355)	122.07
25	10,421.0	472.90	42,425	-	2,350.0	4,140.0	3,664.0	(37,200)	123.07
26	10,280.0	468.60	42,650	-	2,346.0	4,073.0	3,583.0	35,550	-
27	-	-	-	-	-	-	-	-	-
28	-	-	-	-	-	-	-	-	123.24
29	10,227.0	471.40	42,925	-	2,369.5	4,064.0	3,606.0	34,050	125.22
30	10,350.0	471.65	42,750	-	2,394.0	4,101.0	3,583.0	33,100	123.48
31	10,390.5	473.95	43,900	-	2,402.0	4,134.5	3,508.0	32,750	123.39
平均値	10,243.0	467.15	44,489	-	2,364.6	3,962.6	3,554.3	31,412	119.53

※ ニッケルの()付は非公式価格。平均値は公式価格の平均です。

故銅市況

3月31日朝入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）銅相場場で、直物の前場売値が、前営業日の1万0,350.00ドルより40.50ドル高の1万0,390.50ドル。直物の終値は、前営業日の1万0,314.50ドルより46.00ドル高の1万0,360.50ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の1万0,356.00ドルより36.00ドル高の1万0,392.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の1万0,316.50ドルより51.00ドル高の1万0,367.50ドル。COMEX（ニューヨーク商品取引所）銅相場の5月限は、前営業日の473.10セントより1.95セント高の475.05セント。SHFE(上海期貨交易所)銅相場の5月限は、前営業日の7万3,540元より130元高の7万3,670元。

3月31日の東京為替市場TTSレートは、前日の123.48円より0.09円の円高ドル安、1ドル=123.39円。31日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は1万0,390.50ドル。この値と31日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日の131万6,000円より4,000円高の132万円。この日、電気銅建値は133万円に据え置かれた。

故銅直納問屋筋の平均値頃感 (単位は千円) (3月29日更新)

直納問屋筋によるロット物 (5トン前後) の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が1030~1035、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは995~1000、並銅は960~970、込銅(高品位=約97%)は950、セパは818~823。コーベルは要り用筋で759、それ以外は744ほど。黄銅削粉も同様、要り用筋769、それ以外739~749どころの値頃。並青銅削粉は840~845どころ。

小口市中相場(1トン前後)では、ピカ線が1010~1030、上銅新くずが975~995、普通上銅が950~970、2号銅線が942~962、並銅が940~960、込銅(94-97%)が888、込銅(90-93%)が890、下銅が562~612、セパが783~818、コーベルが699~744、黄銅棒材が694~739、黄銅削粉が689~734、黄銅ラジが654~662、交叉ラジが554~611、黄銅銅削物が539~546、送りが307~326、上青銅削物が837~857、並青銅削物が817~832、上青銅削物削粉が832~852、並青銅削物削粉が807~827どころ。

アルミ二次合金メーカー買値実勢値

(1トン程度・置場・現金・キロ当たり円)

関東地区 (3月後半)

2S=280円~300円、63S=264円~295円、アルミホイール(1P)=176円~290円、ビス付サッシ=157円~166円、エンジンコロ=160円~168円、込合金(機械鋳物)=158円~166円、缶プレス(ソフト)=131円~141円。

関西地区 (3月後半)

2S=267円 ~270円、63S=270円 ~273円、印刷版=260円~263円、アルミホイール(1P)=241円~251円、ベースメタル=204円~208円、機械鋳物=151円~154円、ダライ粉=130円~133円、ビス付サッシ=148円~153円、缶プレス=138円~143円。

為替動向

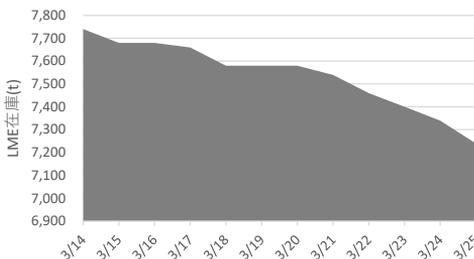
3月30日、ロンドン外国為替市場のユーロは対ドルで上昇。16時、前日より0.0060ドルのユーロ高ドル安、1ユーロ=1.1160ドル~1.1170ドルで推移した。30日発表されたドイツの3月CPIの速報値は、前年同月比で前月の5.1%から7.3%の上昇。市場予想の6.3%も上回った。インフレ圧力の高まりから、ECBは早期の利上げを迫られるとの観測が強まり、ユーロ買いドル売りを後押しした。

3月30日のニューヨーク外国為替市場で円相場は大幅に続伸した。前日と比べ1.05円の円高ドル安、1ドル=121.80円~121.90円で取引を終えた。日銀の金利抑制に向けた市場介入の発表を受け、円は今週初めに125円台と2015年8月以来の安値水準を付けた。月初から10円あまり円安が進んでおり、四半期末を前に持ち高調整や利益確定の円買いドル売りが進行した。

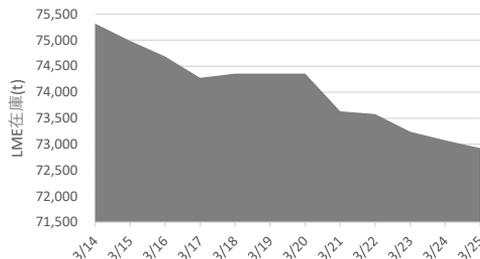
3月31日早朝の東京外国為替市場で円相場は下落して始まった。8時30分、前日17時と比べ0.18円の円安ドル高、1ドル=122.04円~122.05円だった。日銀は、3月31日まで提示する利回りで複数日にわたって無制限に国債を購入すると発表。30日には入札方式の長期国債の買い入れも、当初は予定していなかった超長期ゾーンを対象に追加するなど積極的に買い入れを促進。円売りドル買いが優勢となっていた。ただ、ウクライナ情勢を巡る緊張緩和への期待が後退するなか、円を大きく売り込む動きは限られていた。円はユーロに対しても下落。同じく0.58円の円安ユーロ高、1ユーロ=136.19円~136.22円だった。

LME認定倉庫在庫量推移 3月14日~3月25日(現地)

北米特殊



ニッケル





LME銅相場は続伸 直物の終値は1万0,360.50ドル

COMEX銅相場も続伸 SHFE銅相場も続伸

LME非鉄相場は概ね堅調 アルミ直物の終値は反発して3,536.50ドル



3月31日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、3月30日入電の1万0,350.00ドルより40.50ドル高の1万0,390.50ドル。2営業日の続伸で1.60%高。この週1.07%の上伸。3月に入って4.74%の上伸。3か月物の前場売値は、3月30日入電の1万0,356.00ドルより36.00ドル高の1万0,392.00ドル。2営業日の続伸で1.58%高。この週0.80%の上伸。3月に入って5.37%の上伸。

LME公認倉庫の銅在庫は、現地3月29日の8万1,500トンより6,425トン増の8万7,925トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、4月限が、3月30日入電の471.65セントより2.30セント高の473.95セント。3営業日の続伸で1.10%高。この週1.10%の上伸。3月に入って6.48%の上伸。中心限月に当たる5月限は、3月30日入電の473.10セントより1.95セント高の475.05セント。3営業日の続伸で1.11%高。この週1.11%の上伸。3月に入って6.64%の上伸。

SHFE（上海期貨交易所）銅相場は、4月限が、3月30日入電の7万3,650元より130元高の7万3,780元。2営業日の続伸で0.90%高。この週0.23%の上伸。3月に入って4.15%の上伸。中心限月に当たる5月限は、3月30日入電の7万3,540元より130元高の7万3,670元。2営業日の続伸で0.86%高。この週0.14%の上伸。3月に入って3.99%の上伸。

錫は上伸

LME錫相場の前場売値は、直物が、3月30日入電の4万2,750.00ドルより1,150.00ドル高の4万3,900.00ドル。反発して2.69%高。この週2.93%の上伸。3月に入って2.88%の下落。3か月物の前場売値は、3月30日入電の4万2,450.00ドルより150.00ドル高の4万2,600.00ドル。6営業日の続伸で2.90%高。この週0.59%の上伸。3月に入って5.02%の下落。

LME公認倉庫の錫在庫は現地3月29日の2,260トンより150トン減の2,110トン。

鉛は続伸

LME鉛相場の前場売値は、直物が、3月30日入電の2,394.00ドルより8.00ドル高の2,402.00ドル。3営業日の続伸で2.39%高。この週2.39%の上伸。3月に入って1.82%の上伸。3か月物の前場売値は、3月30日入電の2,383.00ドルより11.00ドル高の2,394.00ドル。3営業日の続伸で2.22%高。この週2.22%の上伸。3月に入って1.53%の上伸。

LME公認倉庫の鉛在庫は現地3月29日の3万8,725トンよりトン減の3万8,725トン。

亜鉛も続伸

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、3月30日入電の4,101.00ドルより33.50ドル高の4,134.50ドル。2営業日の続伸で1.73%高。この週1.51%の上伸。3月に入って13.59%の上伸。3か月物の前場売値は、3月30日入電の4,086.00ドルより31.00ドル高の4,117.00ドル。2営業日の続伸で1.53%高。この週1.52%の上伸。3月に入って13.76%の上伸。

LME公認倉庫の亜鉛在庫は現地3月29日の14万2,250トンより150トン減の14万2,100トン。

アルミは続落 アルミ合金は下落 北米特殊はまちまち

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、3月30日入電の3,583.00ドルより75.00ドル安の3,508.00ドル。2営業日の続落で2.72%安。この週2.09%の下落。3月に入って4.54%の上伸。3か月物の前場売値は、3月30日入電の3,608.00ドルより81.00ドル安の3,527.00ドル。2営業日の続落で2.46%安。この週1.77%の下落。3月に入って6.43%の上伸。

LME公認倉庫のアルミ在庫は現地3月29日の66万3,225トンより万8,750トン減の65万4,475トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、3月30日入電の2,877.00ドルより75.00ドル安の2,802.00ドル。反落して2.61%安。この週2.57%の下落。3月に入って3.70%の上伸。3か月物の前場売値は、3月30日入電の2,900.00ドルより75.00ドル安の2,825.00ドル。下落して2.59%安。この週2.59%の下落。3月に入って4.24%の上伸。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、3月30日入電の3,070.00ドルより5.00ドル安の3,065.00ドル。3営業日の続落で0.45%安。この週0.45%の下落。3月に入って7.17%の上伸。3か月物の前場売値は、3月30日入電より横ばいの3,086.00ドル。この週0.13%の下落。3月に入って7.71%の上伸。

ニッケルは続落

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、3月30日入電の3万3,100.00ドルより350.00ドル安の3万2,750.00ドル。4営業日の続落で11.96%安。この週7.88%の下落。3月に入って32.59%の上伸。3か月物の前場売値は、3月30日入電の3万2,700.00ドルより50.00ドル安の3万2,650.00ドル。4営業日の続落で12.31%安。この週9.31%の下落。3月に入って34.69%の上伸。

LME公認倉庫のニッケル在庫は現地3月29日の7万2,630トンより90トン減の7万2,540トン。

LME公示価格(US\$)／3月30日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	10,390.50	43,900.00	2,402.00	4,134.50	3,508.00	2,802.00	3,065.00	32,750.00
	前営業日比	40.50	1,150.00	8.00	33.50	▲ 75.00	▲ 75.00	▲ 5.00	▲ 350.00
先物	公示価格	10,392.00	42,600.00	2,394.00	4,117.00	3,527.00	2,825.00	3,086.00	32,650.00
	前営業日比	36.00	150.00	11.00	31.00	▲ 81.00	▲ 75.00	0.00	▲ 50.00

海外非鉄金属相場

(3月31日 入電・現地 3月30日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns for metal types (銅AG, 錫HG, 鉛, 亜鉛SHG, アルミHG, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル, NYコメックス相場) and rows for current prices, previous prices, and high/low values.

採算価格 フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)

Table for LME (円ベース/キロ) and COMEX prices for various metals like copper, tin, lead, zinc, aluminum, and nickel.

フリー・マーケット

■米国生産者価格(地金)

Table showing US producer prices for silver (EH社, HH社) with prices in 2500.0 and 2501.5.

■NY相場

Table showing NY market prices for copper and tin.

■ロンドン相場(ドル)

Table showing London market prices for various metals like gold, antimony, bismuth, cadmium, indium, selenium, sponge titanium, ferromolybdenum, cobalt, magnesium, tungsten, and tantalum.

■KLT M錫(MYR/KG、出来高トン)

Table showing KLT M tin prices for March 30 and 31, including exchange rates and prices.

■LME在庫(トン)

Table showing LME inventory for copper, tin, lead, zinc, aluminum, and nickel.

■上海在庫(トン)

Table showing Shanghai inventory for copper, aluminum, zinc, lead, and nickel.

■LMEプレマーケット(ドル)

Table showing LME pre-market prices for copper, aluminum, tin, zinc, and nickel.

■上海相場

Table showing Shanghai market prices for copper, aluminum, zinc, lead, and nickel.

※31日のKLT Mは取引なし。

Table for COMEX and Shanghai prices with exchange rates (元・円 = 19.56).

非鉄金属製品相場

(3月31日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	電線 (現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)
銅小板2.0ミリ	1580	1505	亜鉛板0.3×3×7	620	620	V V F
建築用0.3ミリ	1630	1555	印刷用亜鉛板トッパン用	790	790	2C×1.6 52~54
銅大板2×1×2	1710	1705	給水管13ミリ	300	300	2C×2.0 93~96
銅管(ベース)	1670	1685	鉛板1.5ミリ	579	579	3C×1.6 96~99
水道用管(m当たり)13ミリ	1580	1595	鉛線3ミリ	460	460	3C×2.0 143~146
銅棒25ミリ	1510	1495	軽圧品	大阪	東京	I V
銅条1.5×100	1550	1525	アルミ箔0.007ミリ	1075	1035	1.6mm 29.8~31.7
銅線0.9ミリ	1600	1565	〃 小板1ミリ	710	665	5.5sq 81.3~86.4
銅帯6×50	1530	1505	〃 大板1ミリ	690	655	14sq 203~216
銅平角線	1800	1735	〃 5052板	745	705	CV-T
黄銅小板2.0ミリ	1315	1260	〃 5083板	760	720	600V 3C×38 1543~1640
〃 0.3ミリ	1345	1290	〃 2017板	1200	1265	600V 3C×60 2372~2522
黄銅大板2×1×2	1465	1440	〃 線3ミリ	725	655	600V 3C×100 3986~4237
黄銅管	1795	1720	〃 快削棒50ミリ	910	870	6kV 3C×38 2522~2676
復水器用黄銅管	1780	1705	〃 合金棒50ミリ(17S)	895	850	6kV 3C×60 3507~3721
黄銅棒快削25ミリ	1095	1110	〃 合金棒50ミリ(56S)	850	810	CVV (関西-関東)
六角棒	1125	1140	貴金属(一般小口向け)			3C×2 123-126
四角棒	1155	1170	白金(グラム)		◎ 4374	4C×2 164-168
鍛造用	1135	1150	パラジウム(グラム)		◎ 10131	6C×2 234-239
ネーパル	1235	1250	金(グラム)		◎ 8393	7C×2 267-274
高力	1235	1250	銀(キログラム)		110330	合金鉄 2月輸入単価 (CIF)
黄銅線6ミリ	1520	1470	レアメタル輸入価格 2月通関 (CIF)			フェロマンガ2%以上炭素含有 189
黄銅平角線ロール仕上	1720	1680	金属ケイ素(99.99%未満)		537	〃 その他 336.2
黄銅条1.5×100	1315	1280	モリブデン酸化物		3417	フェロシリコン55%以上 268
リン青銅板一般用1.0ミリ	2980	3170	タンタル		44400	フェロクロム4%以上炭素含有 217.3
〃 バネ用0.3ミリ	3260	3460	マグネシウム		-	フェロモリブデン純分60%以上 3448
リン青銅棒25ミリ	3060	3270	コバルト		8283	フェロバナジウム 3039
リン青銅線3ミリ	3460	3670	インジウム		27498	フェロニッケル33%未満 531.2
洋白板一般用1.0ミリ	3610	3740				電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ 326
〃 バネ用1.0ミリ	3730	3850				

減摩合金	4月1日改定	銅合金地金	2月1日発表
(500kg以上、大口価格)		(標準価格)	大阪
1種	◆ 6025	BC 1種	1200
2種	◆ 5825	2種	1560
3種	◆ 5625	3種	1655
4種	◆ 4920	6種	1335
5種	◆ 4740	7種	1435
7種	◎ 1500	YBSC 3種	1060
8種	◎ 1260	LBC 3種	1595
9種	◎ 1080	PBC 2種	1685



https://home.nikkankinzoku.co.jp/

非鉄金属材料相場

キロ当たり円	◎上げ ◆下げ		(3月31日調べ)		インジウム大口~小口(99.99%)		39,000 ~ 42,000(1)	
	大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金		大阪 仲間相場	東京 仲間相場		
山元建値			電気銅	1330(29)	金	7,606(31)		
() 実施日			電気鉛	345(28)	銀	99,070(31)		
			電気亜鉛	586(28)	錫(99.99%)	6,500(22)		
1トン以上外税持込				高値	安値	高値	安値	
1号銅線	1163	1160	電気銅	◆1279	◆1274	◆1281	◆1276	
2号銅線	1111	—	電気亜鉛	508	502	508	502	
上銅(新切)	1134	1125	蒸留亜鉛	496	490	496	490	
雑ナゲット	984	991	再生ダイカスト亜鉛2種	464	458	464	458	
並銅	1066	1058	再生亜鉛(98%)	405	399	405	399	
下銅	1047	1031	電気鉛	322	319	321	318	
銅削粉	1046	1034	再生鉛1号	313	303	309	304	
銅さい(30%)	25	25	再生鉛3号	318	314	314	310	
新切黄銅セバ	919	925	錫1号	5400	5350	5400	5350	
コーベル	886	883	アンチモン	◎1950	◎1900	◎1950	◎1900	
黄銅棒地	870	871	ニッケル(メッキ用)	◆4100	◆4050	◆4100	◆4050	
黄銅削粉	864	867	コバルト	11400	11100	11400	11100	
並黄銅	743	708	セレニウム	3500	3300	3500	3300	
黄銅ラジエター	732	707	ビスマス	1300	1200	1300	1200	
交叉ラジエター	693	666	カドミウム	550	500	550	500	
黄銅鑄物	748	—	マグネシウム合金	800	780	800	780	
山送り(55%)	400	—	アルミ地金99.70%	◎478	◎474	◎480	◎476	
上青銅鑄物	918	—	アルミ二次地金99%	357	352	357	352	
並青銅鑄物	916	908	〃 90%	291	286	291	286	
上青銅鑄物削粉	911	—	アルミ二次合金ADC12	441	436	444	439	
並青銅鑄物削粉	901	896	鑄物用C2BS	466	461	468	463	
新切リン青銅(伸銅)	—	1176	青銅合金地金3種	1740	1730	1775	1765	
〃 (鑄物)	1039	—	〃 6種	1440	1430	1465	1455	
リン青銅削粉	952	945	ハンダ錫60%	◆4030	◆3990	◆4050	◆4020	
新切洋白(電子材)	957	945	〃 50%	◆3460	◆3410	◆3480	◆3450	
新切亜鉛	206	206	〃 40%	◆2945	◆2885	◆2900	◆2870	
ダイカストくず	171	171	減摩合金2種	◆5715	◆5685	◆5720	◆5690	
亜鉛ドロス	149	160	〃 4種	◆4830	◆4805	◆4835	◆4805	
上鉛	116	114	〃 7種	◎1465	◎1415	◎1465	◎1415	
電池素鉛ケース込	20	20	ステンレス・特金	18-8ステンレス 新切		145	145	
活字鉛	101	98		〃 ダライ粉		130	130	
新切アルミ1級	297	299		高耐食ステンレスSUS316		260	260	
新切サッシ1級	297	297		耐熱ステンレスSUS310		350	350	
新切合金1級	287	282		13クローム 新切		30	30	
機械鑄物1級	190	190		ハイス 9種		215	215	
ビス付サッシP	218	215						
合金削粉P	145	150						
込ガラP	140	142						
カン・バラ	205	199						

非鉄金属材料相場面

PW:KINZOKU2204